【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年1月14日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部・文学科・日本文学専攻
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年12月15日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	デンマーク
留学先大学	コペンハーゲン大学(日本語名) University of Copenhagen(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024年8月~2024年12月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部 現地言語での名称: Faculty of Humanities ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬~7月下旬 2 学期: 9月中旬~2月上旬	1 学期: ~ 2 学期: 8月下旬~12月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	36,897
創立年	1479年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (クローネ) (1 現地通貨 = 22 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のためなし
宿舍費	27,272	600,000 円	
食費	1,090	240,000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	545	12,000 円	
現地交通費	0	0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
旅費(留学中)	9,090	200,000 円	
被服費	909	20,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1,685	37,090 円	形態: 海外旅行保険
渡航旅費	11,810	259,830 円	
ビザ申請費	204	4,500 円	
雑費	2,272	50,000 円	
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	54,877 (=1,207,294 円)	1,423,420 円	
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：コペンハーゲン 経由地：ドバイ

復路 出発地：コペンハーゲン 目的地：成田 経由地：ドバイ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：エミレーツ航空
料金：259,830

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社： 料金：
復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

旅行代理店(店名：明大サポート)

インターネット(サイト名：)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：Sinalhuset) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

Housing Foundation

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一人部屋ではあるが、キッチンや共有スペースでルームメイトと交流ができるため一人の時間も皆との時間のどちらも過ごしたい人におすすめです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題なし

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードのみを使った。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

調味料

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Japanese History, Culture, and Society 1		日本の歴史、文化、社会 1
科目設置学部・研究科	人文学部	
履修期間	2024 年秋学期	
単位数	7,5ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、ディスカッション (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Margaret Mehl	
授業内容	時代やテーマごとに日本のついて学ぶ	
試験・課題等	4 回のレポート	
感想を自由記入	様々な国からきた留学生からの意見を聞いて、日本について考える良い機会だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Danish Film, Television& Streaming		デンマークの映画、テレビ、ストリーミング
科目設置学部・研究科	人文学部	
履修期間	2024 年 秋学期	
単位数	15ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Niels Henrik Hartvigson	
授業内容	デンマークの映画歴史を学ぶ	
試験・課題等	期末レポート 1 回(synopsis という期末レポート提出前の下書きも有り)	
感想を自由記入	映画を通して、デンマーク人の精神や文化を学ぶことができた。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTS受験
	10月～12月	学内選考
留学開始年	1月～3月	コペンハーゲン大学出願
	4月～7月	寮の契約、ビザ取得、航空券手配、引っ越し準備等
	8月～9月	渡航～秋学期開始
	10月～12月	秋学期～最終課題
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

まず、デンマークという国を選んだ理由として、世界幸福度ランキング上位にいる人々の生活、人間性、文化に興味を持ったことが始まりでした。また、国として英語力が高く、授業以外に日常生活も英語が通じることからこの国を選びまし。コペンハーゲン大学人文学部は様々な授業やプログラムがあり、留学生も多いことから異文化交流をする場としても良い環境でした。私が履修した授業は日本についての授業とデンマークの映画についての授業でしたが、日本の文化の授業では、改めて日本について考えさせられる良い機会でした。特に、この授業を履修している留学生、現地の学生は日本に興味を持っている人が多いため、交友の場としても、更に海外の人から見た日本という視点においても多くの学びがあった授業でした。二つ目のデンマーク映画の授業では、デンマーク映画の変遷を社会現象と共に辿るという授業で、特にアイデンティティ問題については考えさせられることが多くありました。この授業は講義以外にも、毎週金曜日にキャンパスで映画の上映会を開催しており、映画の内容が授業内容に直接結びついてとても興味深い講義でした。寮生活では、私を含めて4人の留学生と共同生活をしていましたが、定期的に夕食を食べたり、それ以外にもたくさん交流ができて、毎日が非日常のような体験でした。英語力も伸びましたが、何より世界中の色々な人と交流したことにより、自分自身の視野を広げることができ、人間としても成長できたように感じます。これから留学を目指している学生の皆様へ伝えたいことは、ありきたりなことかもしれませんが失敗を恐れずにどんどんチャレンジしてほしいということです。私自身、留学を開始した当初は文化、言語の違いから萎縮してしまい、なかなか行動に移せない時期がありました。何をやるにしても日本の生活とは異なるため、日常の全てが新しいの連続で最初はこの先やっていけるのだろうかという風に思っていました。しかし、一度新しいことにチャレンジして、成功体験を積むとそれが原動力となり自分を動かしてくれます。初めはスーパーで店員さんと話す事も難しかった私ですが、恐れずに寮のルームメイトだったり、学校の先生だったりたくさん交流することによって最終的には一人でヨーロッパの国を旅をして、そこで出会った様々な人と交流ができるようになるまで成長しました。半年前の自分と比較すると明らかに成長を実感でき、改めてコペンハーゲン大学に留学をしてよかったなと思いました。辛いこともあります。乗り越えた先には成長が待っています。これから留学する予定の皆さんの無事とご活躍を願っています。